



公益
社団法人 京都府放射線技師会

京放技ニュース

4 / 2014
(通算 647 号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX 075-802-0082 E-mail:kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス http://www/kyohogi.jp/

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ)キョウトフホウシャセンギシカイ

公益社団法人京都府放射線技師会第 3 回通常総会のお知らせ

公益社団法人 京都府放射線技師会会長 轟 英彦
定款第 24 条の規定に基づき、下記の要領によって公益社団法人京都府放射線技師会
第 3 回通常総会を開催します。会員各位には、ご多忙中とは思いますが万障繰り合
わせて御出席になられますようお願い致します。

(尚、総会出欠はがきは 5 月 9 日(金)までに事務所必着)

日時：平成 26 年 5 月 10 日(土) 16:00～

会場：エーザイ株式会社 京都コミュニケーションオフィス 京都御幸ビル 8F

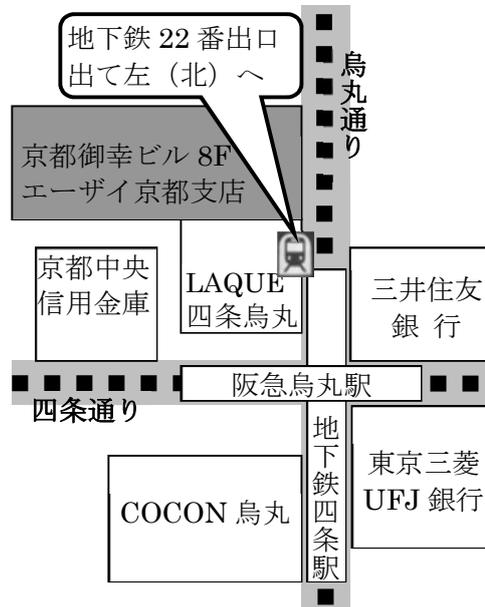
【総会次第】

開会の辞

議事

1. 議長選任の件
2. 平成 25 年度事業及び決算に関する件
 - (1) 平成 25 年度事業経過報告
(総括報告及び各委員会報告)
 - (2) 平成 25 年度会計決算報告
 - (3) 平成 25 年度監査報告
3. 平成 26・27 年度役員選任の件
 - (1) 理事(会長および副会長を含む)の選任
 - (2) 監事の選任
4. その他
5. 議事録署名人選任に関する件

閉会の辞



平成 26・27 年度地区選出理事候補者選挙開票結果

平成 26 年 3 月 3 日

選挙管理委員会委員長 澤田 保雄

平成 26・27 年度地区選出理事候補者（敬称略）選挙開票結果を下記のとおりご報告いたします。

記

北地区	有権者数 54 投票者数 28 投票率 52.0%
当選	山本 祐造（京都第二赤十字病院） 23 票
次点	田中 裕一、西本 岳 2 票
中地区	有権者数 46 投票者数 22 投票率 48.0%
当選	楡 隆之（京都民医連中央病院） 14 票
次点	山田 哲、尾関 裕彦、澤田 保雄 2 票
東地区	有権者数 89 投票者数 35 投票率 39.3%
当選	長岡 浩平（洛和会音羽病院） 28 票
次点	藤本 浩樹、上原 秀夫、小泉 浩司、 谷口 正洋、吉永 昭夫、小谷 明 1 票
西地区	有権者数 77 投票者数 45 投票率 59.1%
当選	平井 靖（三菱京都病院） 30 票
次点	丸山 久喜 4 票
南地区	有権者数 80 投票者数 30 投票率 38.0%
当選	大西 孝志（独立行政法人国立病院機構京都医療センター） 23 票
次点	三浦 健一 2 票
両丹地区	有権者数 63 投票者数 40 投票率 64.1%
当選	上田 一樹（舞鶴赤十字病院） 38 票
次点	兵藤 康弘、城下 克明 1 票
西南部地区	有権者数 63 投票者数 28 投票率 45.4%
当選	松本 洋一（大阪医科大学付属病院） 18 票
次点	山村 憲一郎 2 票

以上

尚、選挙管理委員会では、5 月 10 日（土）開催予定の第 3 回通常総会にて、平成 26・27 年度役員発表と、平成 26・27 年度監事選出選挙を行う予定である。

知事表彰者より京都府放射線技師会ジャンパーが贈られる

公益社団法人 京都府放射線技師会会長 轟 英彦
先日行われた、京都府放射線技師会法人設立 30 周年及び公益社団法人取得記念式典にて京都府知事表彰を受章された 7 名の会員より、京都府放射線技師会への感謝として、スタッフジャンパーが 15 着、贈られました。

京都府放射線技師会が活動する様々なイベントにおいて活用できます。本当にありがとうございました。



平成 25 年度両丹地区冬季研修会研修報告

両丹地区理事 山添 三知夫

3 月 1 日に宮津市のうらしま荘にて両丹地区冬季研修会及び年度末事業報告会を行いました。そこで講演された 3 演題を報告します。

当院の MRI 検査における症例画像について

京都府立医科大学附属北部医療センター 坪井 伸悟

はじめに多系統委縮症は画像所見において小脳および脳幹の萎縮が重度で T2、T2flair 画像において脳橋内に十字状の cross sign が見られることや、疾患分類について紹介しました。次に、HDLS (軸索腫大と伴う遺伝性びまん性白質脳症) は報告例の少ない疾患で、両親のどちらかから変異した遺伝子を受け継げは現れる優性遺伝で、遺伝情報に関わる塩基配列が一カ所置き換わっただけで発症するなど、画像を見ていただきながら紹介しました。最後に急性期脳梗塞 (t-PA 適応) ですが、T2 star (SWI) 画像において M1 SVS(susceptibility vessel sign)が見られると t-PA 静注療法をしても早期再開通しにくいことや転帰不良の予測因子にあげられることなど、当院の t-PA 適応チェックリストも含め紹介しました。以上、3 症例になります。まだ MRI 経験も浅く未熟ではありますが、画像に隠れている sign を見逃さないようにし、診断の手助けとなるよう頑張っていきたいと思えます。

当院でのトモシンセシスの運用の仕方

福知山市民病院 中間 翔太

トモシンセシスには分解能が良く金属アーチファクトが少ないなどの特徴があります。これらの特徴を活かし、トモシンセシスはデジタル断層撮影法として特に整形領域で活用されています。しかし、当院での検査数はまだ多くはありません。今回の発表では原理や実際の症例画像を示し、「当院でのトモシンセシスの運用の仕方」について考察をしました。トモシンセシスは X 線 TV 装置で行うため、他科の透視検査と重なってしまうとどうしても検査が出来ないこと、医師に対する周知度が低いことなどが原因だと考えます。

トモシンセシスは大きく有用性があることが様々な文献でも報告されており、今後の運用の仕方次第で検査数は変わるのではないかと考えられます。

内視鏡検査時の被曝低減について

舞鶴赤十字病院 藤原 朗

今回のテーマは、放射線障害防護用器具が実際にどの程度被曝低減に貢献しているのかを検証し、防具の有用性を知り、医師、看護師に安心して検査をしてもらうことを目的として行いました。

今回の実験方法は、10L の生理食塩水ファントムを 3 個並べ、エックス線透視条件は AUTO で、実際に当院で医師、看護師が検査時にいる場所を考慮して、照射点から天板上の等間隔での周囲、そこからの従事者配置点を測定点とし照射しました。測定条件は、防具無し、プロテクターエプロンのみ、防具あり、防具+プロテクターエプロンとの 4 項目を測定しました。

初めに防護無しで測定を行い、その測定点での空間線量率を 100%とし、防護有りの場合、同一測定点でどれだけ低減したかを測定します。結果は、エプロンを着用すれば約 90%、防具を装着すれば約 80%、防護とエプロンを使用すれば約 96%低減しました。

今回の結果より、当院スタッフとも防護の有用性を共有することができました。

平成 25 年 2 月 8 日の第 9 回理事会にて平成 26 年度事業計画と予算書が承認されました。その平成 26 年度事業計画と予算書を以下に示します。

公益社団法人 京都府放射線技師会会長 轟 英彦

平成 26 年度事業計画

1. 総括

平成 25 年度の事業につきましては、会長就任 8 年目の年ではありましたが会員諸氏の協力を頂き無事終わることができました。

今年度も引き続き生涯教育セミナー「基礎技術講習会」をはじめ各種セミナーや被曝・機器管理講習会を積極的に開催します。又、学術研修会では公開講座を含め放射線技師の府民への関わりをさらに強くアピールしていきます。

また、昨年度より京都府緊急被ばく医療ネットワーク会議の一員となり、京都府下で行われる原子力災害訓練にも積極的に参加していきます。

さらに、看護大学や看護専門学校に講師としておもむき、放射線の正しい知識を身につけて頂き、各病院で放射線検査がスムーズに行えるよう、指導したいと思えます。

各地域に対しては中学校をはじめ高等学校で「放射線とは何」と題して講義が行えるように関係機関と協議の場を持つよう努力します。

会員の減少という問題にも、日本診療放射線技師会と協力をしながらいろいろな事業に取り組み、対策を講じて行きます。今年度も京都府放射線技師会（各地方技師会も含め）と日本診療放射線技師会が一体となり事業を進めます。その一環として生涯教育活動ポイントとして統一され、地方で行う事業もこれに含まれることになりました。このように、会員はもちろんのこと府民及び診療放射線技師にとってよりよい技師会を目指すのは勿論のこと事業の内容も府民の目線に立ったものを目指します。

さらに、今年は全国学術大会京都開催の前年度であり、準備に多大な労力を費やすこととなります。会員の絶大なるご支援ご協力をお願いいたします。

以上のように厳しい状況ではありますが鋭意努力をして各事業の計画を出来るだけ早い時期から会員にお知らせし、参加して頂けるよう、また、会員一人一人の参加が活力ですので、ご協力のほどお願いします。

2. 社会事業（広報・渉外・組織・調査）

- (1) 例年通り、開催予定の「第 41 回くらしと健康展」へ主催者団体の一員として積極的に参加し、京都府民に放射線医療の啓蒙と放射線を利用した検査と治療に関わる悩みの相談や診療放射線技師の業務内容の理解と存在を直接アピールしていきます。『放射線なんでも相談コーナー』では、相談内容は従来の医療被曝だけでなく、新たに取り組む環境問題など、最新の問題や客観的知識を一般の人々に広報・啓蒙する必要があると考えます。さらに、府民の皆様幅広く放射線技師業務を理解していただくために、放射線管理士委員会にも啓蒙活動を依頼・連携し、情報委員会の協力を得てホームページ上に逐次関連事項を掲載し、当法人の存在及び活動を会員だけでなく一般の人々にも社会性や公益性を案内し広く情報公開していきます。他には、他団体との連携を強化し、さまざまな機会をとおして講演活動を積極的に行います。
- (2) 関連団体事業にも積極的に協力し、昨年度、京都府より原子力災害対策委員会の一員になり、行政（京都府）が開催します放射線（原子力関係）に関する放射線災害安全訓練・講習会などにも診療放射線技師の派遣を行い、地位向上を目指します。また、無資格者による放射線技師業務の防止については、関係機関（京都府・京都市・京都府医師会・京都府歯科医師会・京都私立病院協会）に要望書を提出し、コンプライアンス重視の社会風潮の中で、京都府市民が安心して放射線診療を受けられるよう協力を求めています。
- (3) 「第 49 回京都病院学会」については、今年度も実行委員・座長を送り積極的に協力し、会員が放射線技術向上への研究発表ができる場として利用することにより、他団体との交流の場とします。

組織調査活動について、各会員施設及び学校へ新卒者の京都府下への就職先リスト調査を依頼し、厚生委員会と協力して「フレッシュ診療放射線技師の集い」を開催すると同時に技師会への入会を推進し、会員間の求心力の向上、各地区委員の活性化に向けて全地区委員会および学遊会を開催し、委員の意見集約を行い技師会の事業推進への協力を促します。さらに、会員への調査事業を活発にするとともに、各地区委員会へ三役とともに参加をして問題点を洗い出し把握して活性化に役立てます。各地区の班編成を調査し再編成を含めて、地区活動を活発に行えるようにします。

そして、若い会員の意見の導入を積極的に行い、会の活性化に勤め、調査に関しては今会員が何を求め、何を知りたいかを把握した上で事業を推進していきます。

3. 研修事業（学術・放射線管理）

学術活動について、京都府放射線技師会の理念であります診療放射線技師の役割の充実と資質の向上を目指し、会員が望む生涯学習教育および会員相互の情報交換のできる研修会さらには府民に認められる研修会を基本に各関係団体の協力も得ながら行います。今年度も引き続き（公社）日本診療放射線技師会共催の基礎講習会等の開催（他府県との合同）もできるだけ行ないます。月例研修会を基本とするが、内容は専門的なものから一般的な話題も取り入れ、府民向けの一般公開講座も行います。今年は当会主催の近畿地域放射線技師学術大会を開催し、多くの府民に参加して頂けるよう努力します。これらの研修会は惹いては府民市民に還元されるものと考えます。

また、チーム医療の一員として、静脈注射抜針講習会を引き続き開催します。

(1) 京都市内会場

特に開催月は決めず、土曜日を基本に年 4 回程度とする。

但し、時間的余裕（3 時間）のある研修会や夜間、日曜日開催も考える。

(2) 両丹地区会場

開催期は限定せず、研修会を行なう。

(3) 日本診療放射線技師会基礎講習会等の生涯教育・認定講習会を開催

(4) 府民公開講座を年 2 回程度、研修会の一環として行なう。

(5) その他

その都度開催予定

上級救命講習会に関しては京都市消防局が行う上級救命講習を受講し、その技術の習得・維持に努めてほしい。

* 研修会は会員無料、非会員は有料とする。

管理士活動について、管理士会の事業の推進を図るとともに、学術・広報・組織と連携し、「くらしと健康展」や講習会（研修）計画、放射線に関する実態調査など教育・編集・調査の三分野を充実させます。さらに、原子力関係の講習会や訓練・緊急被曝フォーラムなどに積極的に参加し、他府県の放射線管理士部会と交流も行います。京都医療科学大学と協力し、線量計の校正に関する講習会を開催し、京都府下の各病院の被曝災害体制にも積極的に取り組みます。

4. 情報事業（編集・情報）

編集活動について、「京放技ニュース」は基本毎月 1 日発行としたい。「京放技ニュース」は会員に対して最新情報を提供・会員相互の意見交換の一つでありますので、積極的な記事をたくさん投稿していただきたい。また、各委員会との連携を強め、充実した紙面と長期計画の掲載をし、予定が立てやすいように配慮します。また、「京都府放射線技師会雑誌」については年度末に 1 回発行しますが、昨年と同様に内容は府民をはじめ誰が読んでも参考になるものとし、さらに、これらのデジタル化も視野に入れて検討していきます。

情報活動については、京放技・日放技関係の記事をインターネットを通じて広報し、会員に対して迅速な情報提供を行い、会員の交流や教育を深めることを目的とし会員からの投稿記事の掲載を行うなどさらに整備し、各種団体とのリンクを積極的に行います。さらに、会員が認定されている放射線管理士、放射線機器管理士、医用画像情報精度管理士、臨床実習指導教員、CT・MR 検査専門認定などを更新し、引き続き公表していきます。

京都府民に対して公益法人としての役割を十分に果たすようホームページでは府民向けの資料を整理するとともに、府民の方が積極的に活用して頂けるようにします。

また、公開講座をはじめ各種の放射線に関連するイベントの案内を行い、組織調査・広報渉外・放射線管理士ならびに放射線機器管理士と共に、様々な情報提供を行ない、府民の皆様に向けた医療被曝や医療機器コーナーを充実させます。さらに、放射線に関する質問に関しても活用して頂けるよう広報し、正確かつ迅速に答えられるようにし、診療放射線技師の業務を理解していただく為、各委員会と連携を深めることに努めます。

5. 厚生事業

厚生活動について、会員相互の親睦を図るための重要な事業であることから、懇親を深める事業を計画します。また、フレッシュ診療放射線技師の集い、新年会は例年通り開催します。

6. その他

(1) 第 31 回全国診療放射線技師総合学術大会（京都開催）

平成 27 年 11 月 21 日から 23 日開催が決定しました。実行委員会を立ち上げ、全力で成功に向けて努力いたします。

(2) 表彰関係

昨年度の実績を踏まえて、個人（会員）・団体に対する表彰を積極的に行います。

平成 26 年度 収支予算書（収支ベース）

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入				
基本財産運用収入	250	300	△ 50	
②受取会費収入	5,625,000	5,645,000	△ 20,000	
正会員会費収入	4,950,000	4,920,000	30,000	会員 475 名 新入会 20 名
賛助会員会費収入	675,000	725,000	△ 50,000	25,000 円×27 社
③事業収入				
広告料収入	850,000	850,000	0	
④受取補助金収入	90,000	1,590,000		
日本診療放射線技師会補助金収入	0	1,500,000	△ 1,500,000	近畿地域学術大会
地方公共団体補助金収入	90,000	90,000		
⑤受取負担金収入				
日本放射線技師会負担金収入	50,000	50,000	0	
⑥寄付金収入				
寄付金収入	10,000	10,000	0	
⑦雑収入	1,300	1,500	△ 200	
受取利息	300	500	△ 200	
雑収入	1,000	1,000	0	
⑧特定資産取崩収入		500,000	△ 500,000	
記念事業積立金	0	500,000	△ 500,000	
事業活動収入合計（A）	6,626,550	8,646,800	△ 2,020,250	
2. 事業活動支出				
①事業費	4,354,200	6,591,980	△ 2,237,780	
印刷製本費	1,100,000	1,350,000	△ 250,000	
通信運搬費	436,500	436,500	0	
通信運搬費	40,000	40,000	0	
連絡費	360,000	350,000	10,000	
IT 関連費	30,000	40,000	△ 10,000	
電話料	6,500	6,500	0	

賃借料	会場費	400,000	400,000	0
諸謝金	講師費	259,000	250,000	9,000
近畿地域学術大会		0	1,500,000	△ 1,500,000
公益法人取得 30 周年及新公益移行記念式典		0	500,000	△ 500,000
福利厚生費		405,000	395,000	10,000
	調査研究費	80,000	70,000	10,000
	図書費	5,000	5,000	0
	福利厚生費	280,000	280,000	0
	渉外費 (慶弔)	40,000	40,000	0
会議費		177,500	208,500	△ 31,000
	学術	20,000	20,000	0
	編集	20,000	20,000	0
	広報渉外	7,500	7,500	0
	組織調査	20,000	20,000	0
	管理士会	15,000	15,000	0
	厚生	5,000	5,000	0
	情報	25,000	36,000	△ 11,000
	特別	15,000	25,000	△ 10,000
	地区 (7 地区)	50,000	50,000	0
	H27 全国学術大会準備委員会	0	10,000	△ 10,000
旅費交通費		400,000	365,500	34,500
	学術	50,000	40,000	10,000
	編集	30,000	20,000	10,000
	広報渉外	10,000	7,500	2,500
	組織調査	45,000	40,000	5,000
	管理士会	60,000	35,000	25,000
	厚生	20,000	15,000	5,000
	情報	25,000	18,000	7,000
	特別	35,000	45,000	△ 10,000
	地区 (7 地区)	125,000	125,000	0
	H27 全国学術大会準備委員会	0	20,000	△ 20,000
広報渉外		90,000	90,000	0
	くらしと健康展	70,000	70,000	0
	関連団体	20,000	20,000	0
事業雑費		5,000	5,000	0
給料手当		487,200	486,480	720
	給料通勤手当費	480,000	480,000	0
	法定福利費	7,200	6,480	720
租税公課費	諸税	55,000	60,000	△ 5,000
受信費	電話料	55,000	45,000	10,000
消耗品費		100,000	100,000	0
	消耗品	70,000	70,000	0
	印刷費	30,000	30,000	0
光熱水料費		40,000	56,000	△ 16,000
消耗什器備品費		15,000	15,000	0
リース費		47,000	47,000	0
支払負担金		12,000	12,000	0
委託費	事務所管理費 2 階	258,000	258,000	0
保険料	火災保険料	12,000	12,000	0
②管理費		2,068,540	2,030,560	37,980
給料手当		528,000	527,000	980
	給料通勤手当費	520,000	520,000	0
	法定福利費	8,000	7,020	980

会議費		325,000	314,500	10,500	
理事会費		14,000	13,800	2,000	
各委員会費		80,000	71,500	8,500	
役員活動費		40,000	40,000	0	
総会開催費		15,000	15,000	0	
総会準備費		50,000	50,000	0	
旅費交通費		585,500	585,500	0	
理事会旅費		342,000	342,000	0	
各委員会旅費		143,000	143,000	0	
役員活動旅費		100,000	100,000	0	
租税公課費					
諸税		30,000	30,000	0	
支払負担金		8,000	7,500	500	
受信費					
電話料		80,000	70,000	10,000	
消耗品費		120,000	120,000	0	
消耗品費		70,000	70,000	0	
通信費		50,000	50,000	0	
光熱水料費		100,000	84,000	16,000	
消耗什器備品費		15,000	15,000	0	
リース費		47,000	47,000	0	
委託費					
事務所管理費 1 階		140,040	140,040	0	
保険料					
火災保険		10,000	10,000	0	
渉外費		60,000	60,000	0	
管理雑費		20,000	20,000	0	
③特定預金積立金		0	0	0	
特別事業		0	0	0	
備品購入		0	0	0	
事務所整備		0	0	0	
マンション改修		0	0	0	
④記念事業積立預金		100,000	0	100,000	
創立 70 周年記念事業		100,000	0	100,000	
事業活動支出合計 (B)		6,522,740	8,622,540	△ 2,099,800	
事業活動収支差額 (A) - (B)		103,810	24,260	79,550	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入		0	0	0	
2. 投資活動支出					
固定資産取得費		0	0	0	
事務所購入費		0	0	0	
什器備品購入費		0	0	0	
投資活動支出合計 (C)		0	0	0	
投資活動収支差額		0	0	0	
III 財務活動収支の部					
財務活動収入		0	0	0	
財務活動支出		0	0	0	
財務活動収支差額		0	0	0	
IV 予備費 (D)		103,810	24,260	79,550	
当期収支差額 (A)-(B)-(C)-(D)		0	0	0	
前期繰越収支差額		596,136	596,136	0	
次期繰越収支差額		596,136	596,136	0	

(注) 借入金限度額 1,000,000 円
債務負担額 10,000,000 円

第 10 回理事会報告

平成 26 年 3 月 7 日

議長に中田理事、書記に中島理事を選任し午後 7 時より議事に入った。

I. 経過報告及び計画に関する件

- 1) 経過報告及び計画 (議会長) (経過報告)
 - 2月8日 平成25年度京放技第9回理事会 (京放技会議室)
 - 2月9日 X線CT専門技師試験全国7か所(近畿は大阪医科大学)
 - 2月14日 全国学術大会下見及び打ち合わせ (京都国際会議場)
 - 日放技・京放技全国大会会議 (京都国際会議場)
 - 第2回近畿会長副会長会議 (平安会館)
 - 2月15日 近畿地域放射線技師会学術大会 (京都府立医大図書館)
 - 2月16日 日本診療放射線技師会第5回理事会 (東京)
 - 3月1日 両丹地区冬季研修会及び年度末事業報告会 (宮津市うらしま荘)
 - 3月7日 平成25年度京放技第10回理事会 (京放技事務所) (計画)
 - 3月8日 京都医療科学大学卒業式出席 (京都医療科学大学)
 - 3月28日 京都府へ次年度事業計画提出
 - 3月29日 期末監査 (京放技事務所)
 - 3月30日 学遊会 (友愛の丘)
 - 4月5日 平成26年度京放技第1回理事会 (京放技会議室)
 - 5月2日 日本診療放射線技師会第1回理事会 (東京)
 - 5月10日 平成26年度京都府放射線技師会通常総会
 - 平成26年度京放技第2回理事会(総会終了後)
 - (エーザイ京都コミュニケーションオフィス)
 - 6月7日 日本診療放射線技師会総会 (東京)
 - 6月13日 平成26年度京放技第3回理事会 (京放技会議室)
 - 6月21・22日 第30回日本診療放射線技師会学術大会プログラム委員会(轟、河本、北村、原口出席) (大分県)
 - 7月12日 全地区委員会及びフレッシュ診療放射線技師の集い
- 2) 委員会報告及び計画
 - 【庶務】 皿谷理事
 - ・会員数 2月28日現在495名(先月士0)
 - (内訳) 名誉会員4名、正会員464名、賛助会員27名(社)
 - ※平成25年度新入会累計26名(再入会0名含む)
 - ・委員会報告
 - ・対外文書115件、発刊文書7件(2月1日~2月28日)
 - 【財務】 武部理事
 - ・会費納入状況
 - 12月末日現在平成25年度会費納入状況416名 88.3%(昨年同86.4%)
 - 平成25年度会費未納者34名、平成24年度会費未納者6名
 - ・平成26年2月会計収支報告書
 - 2月27日 財務委員会 (京放技事務所)
 - 【学術】 原口理事
 - 2月12日 近畿地域学術大会プログラム委員会開催(京放技事務所)
 - 2月14日 第31回日本診療放射線技師会学術大会視察参加
 - 2月15日 平成25年度近畿地域放射線技師会学術大会前日準備 (京都府立医大図書館・看護学学舎)
 - 2月16日 平成25年度近畿地域放射線技師会学術大会開催 (334名参加) (京都府立医大図書館・看護学学舎)
 - 3月22日 学術委員会開催予定 (京放技事務所)
 - 3月26日 第31回日本診療放射線技師会学術大会準備委員会予定 (京放技事務所)
 - 【編集】 中島理事
 - 2月14日 全国学術大会下見及び打ち合わせ参加 (京都国際会議場)
 - 2月15日 近畿地域放射線技師会学術大会準備 (京都府立医大図書館・看護学学舎)
 - 2月16日 近畿地域放射線技師会学術大会開催 (京都府立医大図書館・看護学学舎)
 - 2月17日 3月号ニュース編集作業 (田辺中央病院)
 - 2月24日 3月号ニュース校正作業 (田辺中央病院)
 - 3月17日 4月号ニュース編集作業予定 (田辺中央病院)
 - 3月24日 4月号ニュース校正作業予定 (田辺中央病院)
 - 公益法人取得・法人設立30周年記念式典 報告書作成を継続
 - 平成25年度京都府放射線技師会雑誌 編集作業を継続
 - 次年度より編集委員会報告では元原稿締切り日と編集日とともに「編集日」とし、原稿が完成し、印刷工程に移る日を「校了日」とする。
 - 経費節減のために、第3回通常総会資料と共に4月号ニュースを通常より10日ほど遅らせて発送することを提案、了承される。
 - 【広報・渉外】 新井理事
 - 3月4日 「第49回京都病院学会第4回理事会・第2回実行委員会・プログラム編成会」出席 (私立病院協会事務局会議室)
 - 主な内容-1. 応募総演題数415題(38題減)放射線部門30題、
 - 2. 広告協賛25件110万円(昨年同様)、3. 京都市・京都府・医師会後援了承済み、4. 会場数増室し演題数減少のため発表時間5分討論2分、5. 第5会場12:40~16:10、6. 座長・準備委員選出、群分け提出3月20日締め切りなど
 - 4月1日 「第49回京都病院学会第5回理事会・第3回実行委員会」開催出席予定 (私立病院協会事務局会議室)
 - 5月13日 「第49回京都病院学会第6回理事会・第4回実行委員会」開催出席予定 (私立病院協会事務局会議室)
 - 京都病院学会座長4名 準備委員6名選出(北・西・東地区2名選出依頼)要請。3月20日提出締め切り。
 - 補助金申請書作製のため決算後に研修関係費用の財務収支決算詳細の協力
 - 【組織調査】 久保田理事
 - 2月28日組織調査・厚生委員会合同委員会

- (京放技事務所)
- 学遊会 内容の企画、役割分担
- 3月 組織調査・厚生委員会合同委員会 (学遊会の企画)
- 3月30日 学遊会(BBQ)開催予定 (友愛の丘)
- 学遊会の集会所や時間は、参加申し込みされた方へ直接連絡します。
- 【厚生】 中川理事
 - 2月28日 組織調査・厚生合同委員会開催 (京放技事務所)
 - 学遊会の内容、役割分担、準備について
 - 3月19日 組織調査・厚生合同委員会予定
 - 3月30日 学遊会開催予定 (友愛の丘)
- 【情報】 中田理事
 - 2月18日 学術大会集合写真を掲載
 - 2月27日 京放技ニュースPDFを掲載
 - 学遊会申込みフォーム作成
- 【管理士】 山根理事
 - 2月16日 近畿地区学術集會にて機器管理・線管理士部会分科会開催、近畿ネットワーク会議開催 (京都府立医科大学看護学舎)
 - 2月27日 京都府原子力防災会議参加 (福知山市三段池公園)
 - 次年度の京都府原子力防災訓練は南丹地区、次々年度は間人の道の駅てんきてんきて開催予定である。
 - 【受賞者選考委員会】 河本副会長
 - 2月19日 近畿学術大会お礼状作成(講師、座長、企業、施設)
 - 2月24日 総務委員会(近畿学術決算書の作成)
 - 2月27日 府庁福祉部へ表彰規程、無資格者の防止対策のお願い提出
 - 2月28日 近畿学術の報告書を京都新聞へ提出

II. 地区経過報告及び計画に関する件

- 【北地区】 古谷理事
 - 2月16日 近畿地域放射線技師会学術大会参加
 - 2月24日 学遊会開催の案内を連絡網にて配信
 - 【中地区】 楡理事(庶務理事代読)
 - 2月16日 近畿地域放射線技師会学術大会参加
 - 3月3日 連絡網にて、日放技の給与アンケートと学遊会についての配信を行う
 - 【東地区】 平川理事
 - 2月16日 近畿地域放射線技師会学術大会参加
 - 2月24日 地区委員に、学遊会参加案内、地区理事選挙投票催促を連絡要請
 - 【西地区】 丸山理事
 - 2月13日 地区連絡網にて近畿地域学術大会の最終案内を送信
 - 2月15日 近畿地域学術大会前日準備 西地区より5名参加
 - 2月16日 近畿地域放射線技師会学術大会スタッフ協力(西地区より7名)
 - 2月21日 地区連絡網にて地区理事選挙投票ハガキ投函のお願い
 - 2月24日 地区連絡網にて地区理事選挙投票ハガキ投函の再度お願い
 - 【南地区】 渡里理事
 - 2月16日 近畿地域放射線技師会学術大会参加
 - 2月25日 地区理事選挙はがきの投函のお願いを電話連絡
 - 3月末 地区委員会開催予定(引き継ぎなど)
 - 【両丹地区】 山添理事
 - 2月16日 近畿地域放射線技師会学術大会参加
 - 2月27日 FAXにて平成26・27年度地区理事選挙投票依頼連絡、学遊会の案内
 - 3月1日 平成25年度両丹地区冬季研修会及び年度末事業報告会開催 (宮津市うらしま荘)
 - 16名(会員14名 非会員2名)参加
 - 1. 当院のMRI検査における症例画像について
 - 北部医療センター坪井 伸悟氏
 - 当院でのトモンセンシスの運用の仕方
 - 福知山市民病院中間 翔太氏
 - 内視鏡検査時の被曝低減について舞鶴赤十字病院藤原 朗氏
 - 2. 平成25年度両丹地区活動報告会
 - 3. 平成26・27年度両丹地区委員について
 - 4. その他
 - ・年度内 理事、役員引継ぎ予定
- 【西南部地区】 松元理事
 - 2月15日 近畿地域放射線技師会学術大会準備へ地区より数名参加
 - 2月16日 近畿地域放射線技師会学術大会参加
 - 2月24日 学遊会の件、地区理事選挙のハガキ投函のお願いを連絡網にて行う
 - 2月26日 診療放射線技師の給与の動向調査のお願いを連絡網にて行う
 - 3月28日 地区委員会開催予定 (関西医科大学附属枚方病院)

III. その他

- 1) 選挙管理委員会報告(澤田選挙管理委員長)
 - 平成26・27年度地区選出理事候補者選挙開票結果報告。
 - 地区理事選挙結果として、北地区は山本 祐造(京都第二赤十字病院)、中地区は楡 隆之(京都民医連中央病院)、東地区は長岡 浩平(洛和会音羽病院)、西地区は平井 靖(三菱京都病院)、南地区は大西 孝志(独立行政法人国立病院機構京都医療センター)、両丹地区は上田 一樹(舞鶴赤十字病院)、西南部地区は松本 洋一(大阪医科大学付属病院)が当選。
 - 5月10日開催予定の総会にて平成26・27年度役員発表、平成26・27年度監事選出選挙開催予定。

- 2) 近畿地域放射線技師会学術大会総括（轟会長）
333名と講師1名の参加があり、成功裏に終わったと思っています。今回の経験を基に再来年度の全国大会に生かせるよう、ご協力をお願いします。近畿学術報告に関しては日放技に提出している。学術奨励賞受賞者を記載していないが、年報には掲載する予定である。協力人員を排出していただいた施設へは礼状を発送したが、個人へも個別に連絡する予定である。
- 3) 日本診療放射線技師会理事会報告（轟会長）
静脈注射（針刺しを除く）、インジェクターによる造影剤注入、注腸のネラトン挿入を可能にする法案を今国会で通す予定である、と説明があった。この法案は、医療職種全体での法案をまとめて厚労省より提出される予定であったが、看護協会が看護師部門での提出法案に反対していたために、全体法案の国会提出が見送られていた。今回、看護協会が妥協したおかげで、国会提出が実現できそうである。
- 次年度より地方放射線技師会学術大会の補助金を減額する案が出ていたが、近畿地域放射線技師会については現状維持である 150 次回理事会は平成 26 年 4 月 5 日(土)午後 4 時より京放技会議室にて開催予定
以上、各議案について採択し承認された。（文責中島）

- 万円を確保した。これは他地方技師会では放射線技術学会と共同開催しているためにそれぞれから補助金が交付されており、技術学会の補助金金額である 120 万円に合わせるということであったが、近畿地域は単独開催である旨説明し、減額された 120 万円の補助金に地域振興補助金として 30 万円を増額してもらうこととなった。
- 4) 京都国際会館視察報告（轟会長）
京都国際会館は日放技の役員にも好評であり、実行委員会も了承してもらえた。会計処理は一般会計とは別にし、全国大会用の銀行口座も新たに作成する予定である。
- 5) 日本診療放射線技師会会員システムの停止について（轟会長）
例年であれば、この時期には会費請求されているはずだが、日放技の会員情報システムが停止している状態で、請求書の発送が遅れている。生涯学習ポイントが情報システムに完全反映するのが 9 月末の予定である。その件に関しては、地区連絡網にてそのお知らせを回覧する。

4 月号ニュース発送遅れのお詫び

今月号ニュースは経費削減のため、公益社団法人京都府放射線技師会第 3 回通常総会資料を同封するため、発送が遅れましたことをお詫びいたします。

また、総会資料はホームページにも掲載いたしますので、そちらもご参照ください。
京都府放射線技師会会長 轟 英彦

9 月号ニュースのお詫び

2 月 16 日に行われた平成 25 年度近畿地域学術大会の案内を 9 月号ニュースに掲載していましたが、その地図には京阪三条駅で降りるように案内していましたが、本来であればもう一駅北にある京阪丸太町駅が正解であり、京阪三条駅で降りられた方は大変な距離を歩くことになってしまいました。

今後はこのようなことのないように、今一度、校正を行ってまいります。
書面にて大変失礼なのですが、お詫びと訂正とさせていただきます。
大変申し訳ございませんでした。

編集委員会 中島 智也

常勤職員の求人

城陽市にて常勤職員の募集があります。
京都市左京区の病院にて、マンモ撮影のできる技師の常勤募集があります。
高槻市の健診施設にて、マンモ撮影のできる技師の常勤またはパート募集があります。
詳しくは京放技ホームページか、事務所へお問い合わせください。

▶ 理事会で決定、報告された重要事項

- 日放技の会員情報システムが停止している関係で、来年度の会費請求書の発送が遅れている。
- 京都府知事表彰受賞者 7 名より、京都府放射線技師会ロゴ入りのウインドブレーカー 15 着が寄贈された。

▶ 4 月以降の京放技活動

5 月 10 日（土）（公社）京都府放射線技師会第 3 回通常総会 エーザイ京都オフィス
6 月 8 日（日）第 49 回京都病院学会参加 池坊短期大学